

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和7年7月1日 No. 4 文責 関口

函南町青少年健全育成大会

6月29日(日)、函南町健全育成大会が文化センターにて行われ、本校の代表として、高橋咲菜さんが、わたしの主張を発表しました。堂々と訴えかける様子はとても頼もしかったです。以下にその全文を紹介します。また、社会を明るくする運動ポスターの表彰も行われ、小澤美桜さんが函南教育長賞を受賞しました。作品を掲載しますので、合わせてご覧下さい。

『続けることの大切さ』

桑村小学校6年 高橋 咲菜

私は今、習字を習っています。幼稚園の年長の時に始めたので、今年でもう七年目になります。始めたきっかけは、姉がやっていたからです。姉が筆で上手に字を書いている姿に憧れて、習い始めました。

初めは硬筆で、ひらがなの練習から始めました。だんだんうまくなっていき、一年生になったときに、やっと毛筆を始めました。筆で字を書くのは初めてだったので、使い方や持ち方が難しかったです。初めは、全然うまく書けませんでした。筆に墨をつけすぎて字が太くなりすぎたり、にじんでしまったりしました。でも、先生に注意するところなどを教えてもらい、何回も練習しました。すると、筆の使い方が上手になってきました。何回失敗しても、何回も挑戦することが大事だと分かりました。

習字をやっていて、うれしかったこととくやしかったことがあります。まず、くやしかったことは、コンクールのことです。田方地区の小中学校では、毎年席書コンクールという習字のコンクールがあります。そのコンクールで、小学三年生の時に習字にさそった友達が、先に入選したことです。私は、友達より数年長くやっているのに入選できなかったことで、何よりショックを受けました。友達に負けてしまったという思いでいっぱいでした。でも、落ち込むだけでは負けたままなので、習字の練習をこれまでより集中してやるようにしました。今年こそは、自分も入選できるようにがんばりたいです。

次に、うれしかったことは、先生に筆の持ち方やとめ、はね、はらいなどの筆づかいをほめられたことです。今までは、友達が「字がきれいだね」などほめられることが多くてちょっとくやしかったけれど、私もほめられてうれしかったです。筆の使い方がよくなったので、字もきれいになりました。自分が納得のいく字が書けたときは、うれしい気持ちがさらに増しました。

皆さんは、続けることの大切さを考えたことがありますか？私がなぜ習字を続けているのかというと、もっと上手くなって賞をとってみたい、もっと上手くなるにはどんな工夫をすればよいのかなど、自分の目標と、その目標を絶対に達成したいという気持ちがあるからです。

私は、続けることは未来に続くことだと思います。続けることによって、今の自分がもっとよい自分になるという未来に続いているのです。だから、続けることをあきらめてしまったら、自分の目指す未来に続かなくなってしまう。私は、これまでに、友達に賞をとられたり、コンクールに選ばれなかったりしたとき、習字をやめたくくなりました。また、見たときに目立つような字を書きたいと思って書けないときは、何で思うように書けないのだろうと思いました。でも、やめたらもう自分の目標には届かないと思ってがんばりました。

私のクラスには、私と同じように何かを続けている人がたくさんいます。例えば、陸上を続けている人は、今の自分の記録を超えるために練習を続けているのだと思います。ピアノを続けている人は、「もっと上の級にいききたい。」と言っていました。野球をがんばっている人は、県大会で一勝することを目指しているそうです。ダンスやバレエを続けている人は、発表会で間違えずにきれいにカッコよく踊れるように、練習を続けているそうです。

習い事以外にも、自分の好きなことや決めたことを続けている人もいます。例えば、プラモデルを作るのが得意で、もっと難しいものに挑戦している人もいます。あいさつを自分からすることを続けている人もいます。家でのお手伝いをがんばっている人もいます。

このように、続けるということは自分の目指す未来に続いていくことだと思います。私も、続けることで今までできなかったことができるようになり、小さな成功体験を積み重ねることで、やればできると思えるようになりました。そして、何がだめで何がよいやり方なのかが分かりました。続けることで、自分に力がつき、自信がつくのだと思いました。

私は習字が好きです。これからも、習字を続けていきたいです。そして、どうしたらもっと上手くなってみんなに認められるのかを考え、自分でどんどん字の書き方を工夫していきたいです。私だけでなくクラスの友達も、みんなが未来に向かってがんばっているのは、とても良いことだと思います。お互いに励まし合ったり、時には負けたくないという気持ちでがんばったりして、自分の好きなことや目標に向かっていきたいです。「続けることは、未来に続いていくこと」このことを忘れずにこれからもがんばります。

